

「維新」政治 ①

Q&A どうみる

Q 参院選で「おおさか維新の会」が果たした役割は？

「国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む」

2月19日、日本共産党はじめ5野党の党首合意は、その第3項目でこううたいました。

「安倍政権与党の補完勢力」とは「おおさか維新の会」(現「日本維新の会」、以下「維新」)のことです。その補完ぶりが、7月の参

院選大阪選挙区(改選数4)でもくっきり表れました。

何よりも、安倍政権の肝煎りで「大阪選挙区2人擁立」を決めたことです。松井一郎代表(大阪府知事)

は、早くから2人擁立の方針を口にし、その狙いについて、「共産党と民主党に大阪での議席を与えたくないでね」「共産党が議席

参院選で果たした役割

「改憲反対勢力」つぶし

をとるといふのは日本の国のためにならない」(2月19日の記者会見)と語っていました。しかし、実際には複数擁立が難航。「至難



参院選の結果を受け、安倍政権とその補完勢力の「維新」との新たなたかしの決意を表明する日本共産党の国会議員ら。7月13日、大阪市

の業」を決断したのは安倍政権からの働きかけであったことを複数のメディアが報道しています。狙いは「改憲反対勢力」つぶしでした。

おまけに論戦では徹底して「改憲隠し」。この面でも安倍政権と二人三脚していた。

そして、全国で参院選の真の対決構図が「安倍政権与党対野党・市民共闘」にあることが、1人区を中心に浮かび上がるなか、大阪では「維新」が違う土俵づくりに躍起になりました。

「古い政治を壊す。新しい政治を創る」。ポスターでこう打ち出した彼らは、演説ではもっぱら「大阪の自民党は全国と違う。(府知事で、どうしたか。大阪で、どうしたか。大阪市長ダブル選挙から連載で発信します。共産党と手を組んだ。」